

大豆新品種 ‘サチユタカ A1号’ への品種転換が始まります！

大豆品種 ‘サチユタカ’ から、収量性・加工適性が高い ‘サチユタカ A1号’ への品種転換を図っています。当センターでは、令和7年産からの一般栽培に必要な種子の確保に向け、原原種及び原種生産を行っています。

島根県では約780haの大豆生産が行われており（令和3年産）、その5割以上の面積で ‘サチユタカ’ が栽培されています。 ‘サチユタカ’ は、倒伏しにくく豆腐加工適性が高いこと等から、平成13年に旧奨励品種（島根県主要農作物種子事業要領、令和3年4月1日改正前）に採用され、本県全域で作付けされてきました。しかし、裂莢※しやすく、コンバイン収穫時等に収穫ロスが発生し減収することが課題でした。 ※莢が割れること

そこで、裂莢しにくく、その他の特性は ‘サチユタカ’ と同等である ‘サチユタカ A1号’ への切り替えを進めています。

当センターでは、 ‘サチユタカ A1号’ の育成者である農研機構から原種苗の提供を受け、令和4年度に原原種生産、令和5年度には原種生産を開始しています。令和6年度には採種ほでの種子生産が始まり、令和7年産から一般栽培が開始される予定です。



図1 ‘サチユタカ A1号’ の原原種生産
(2022)



図2 ‘サチユタカ A1号’ の原原種生産
(2023)

問い合わせ先：栽培研究部作物科（担当:川岡 達也）

TEL 0853-22-6946

E_mail:nougi@pref.shimane.lg.jp